

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果報告（概要）

1 体力合計点について

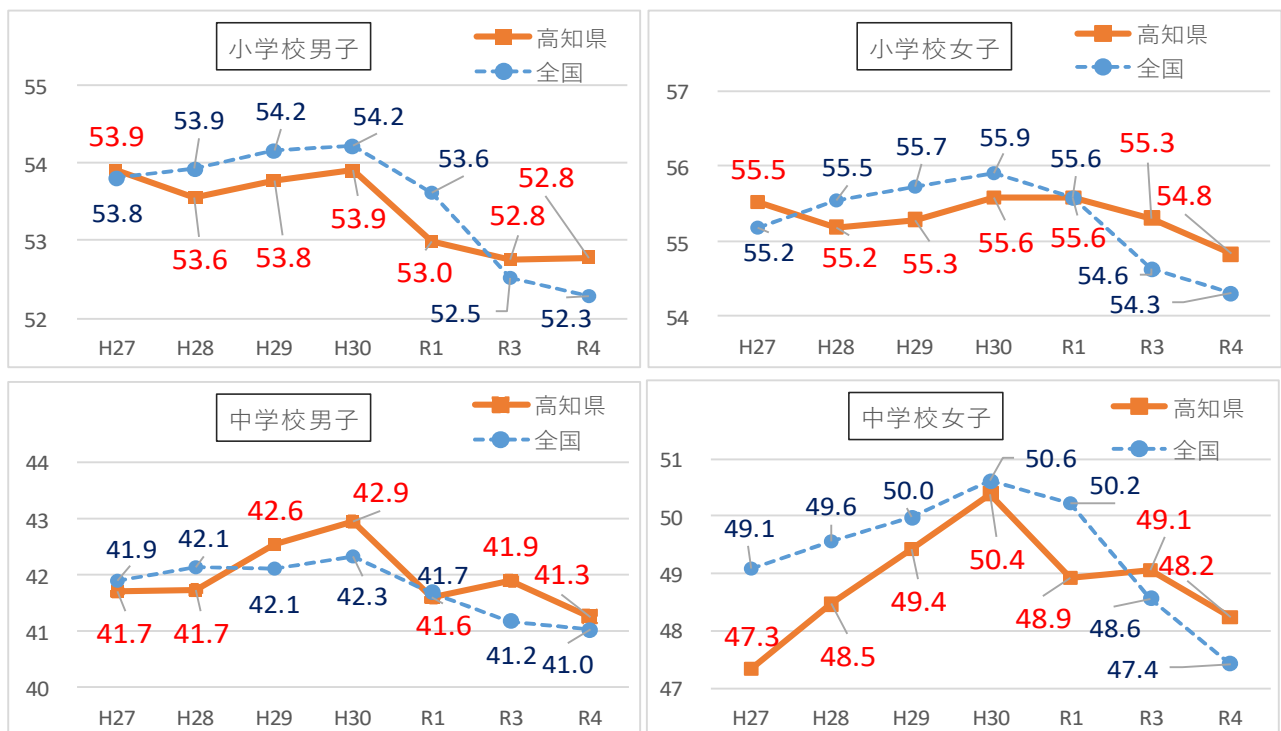
- ・全国の公立学校の体力合計点は、令和3年度の結果と比較すると、小学校男女、中学校男子はやや低下し、中学校女子は低下している。

- ・高知県の体力合計点は、令和3年度の結果と比較すると、小学校男子はほぼ同じであり、小学校女子、中学校男女については、やや下回る結果となった。

また、全国の体力合計得点と比較すると、昨年度に引き続き、小・中学校の男女ともに、全国平均を上回る結果であった。全国順位は、小学校男子が12位（過去最高）、小学校女子が17位（過去最高（昨年と同順位））、中学校女子が18位（過去最高）、中学校男子は26位だった。

- ・総合評価のうち下位のDE群の割合は、全国ではやや増加しており、本県も小学校男子を除きやや増加している。第2期教育大綱で目指す目標値の達成に向けて引き続き取組が必要である。

（小男 34.1%（目標 28.5）、小女 28.4%（目標 21.4）、中男 32.3%（目標 25.6）、中女 16.6%（目標 11.2））



※全国値は、スポーツ庁の示す公立（国立・私立を除く）学校の平均値である。

2 運動習慣・生活習慣・運動部活動の状況について

- ・体育の授業以外における1週間の総運動時間(分)は、全国と比較すると、小学校女子を除いて下回っている^{※1}。また、令和3年度の本県の結果と比較すると、小・中学校男女ともに改善している^{※2}。

※1（小男 540.1（全国：559.3）、小女 362.8（全国：344.1）、中男 689.3（全国：747.9）、中女 520.7（全国：528.4））

※2（小男 540.1（R3:492.1）、小女 362.8（R3:336.2）、中男 689.3（R3:678.7）、中女 520.7（R3:482.3））

- ・1日4時間以上のスクリーンタイム（平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間）の割合を全国と比較すると、小学校は男女ともにほぼ同じであるが、中学校は男女ともに高い。

（小男 27.1%（全国：27.2%）、小女 22.3%（全国：22.2%））

（中男 33.2%（全国：28.9%）、中女 32.4%（全国：26.8%））

- ・中学校における運動部活動の1週間の総運動時間(分)は、男女ともに全国平均をやや上回っている^{※3}。また、令和3年度の本県の結果と比較すると、総運動時間(分)はやや増加しており、運動部活動ガイドラインで定める適正な活動時間（660分）の遵守が求められる^{※4}。

※3（中男 714.9（全国：704.3）、中女 708.2（全国：682.4）） ※4（中男 714.9（R3:687.7）、中女 708.2（R3:689.8））

3 学校の取組について

- ・「令和3年度に、児童・生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定した」の割合を全国と比較すると、小・中学校ともに高い。
(小 88.2 % (全国:80.5%)、中 85.4% (全国 72.3%))
- ・「令和3年度に、体育の授業以外で、全ての児童・生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った」の割合を全国と比較すると、小・中学校ともに高い。
(小 86.0% (全国:77.6%)、中 53.4% (全国:46.5%))
- ・「令和3年度の全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査結果を踏まえて、年間計画の改善に反映した」の割合を全国と比較すると、小・中学校ともに高い。
(小 75.3% (全国:69.8%)、中 81.6% (全国:71.0%))
- ・「体育の授業の最後に、その授業で学習したことをふり返る活動をいつも取り入れている」の割合を全国と比較すると、小・中学校ともに低い。
(小 22.6% (全国:36.1%)、中 47.6% (全国:54.0%))
- ・「体力に関する調査の結果を家庭に連絡している」の割合を全国と比較すると、小・中学校ともに低い。
(小 32.3% (全国:53.1%)、中 17.5% (全国:34.0%))